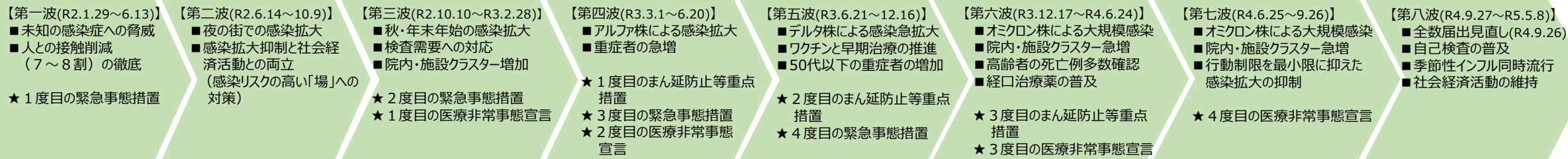


# 大阪府新型コロナウイルス感染症の状況

# 大阪府の保健・医療分野における新型コロナウイルス感染症の対応（第一波～第八波）

5/8  
5類感染症へ移行

感染の波の主な特徴



検査体制・病床の確保

災害級非常事態に向けた医療確保

医療へのアクセス確保・オール医療体制づくり

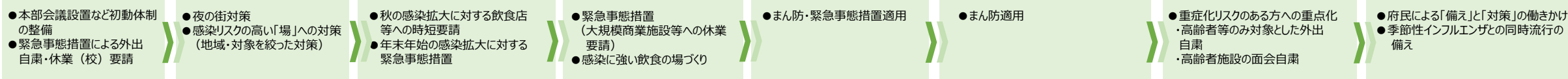
Withコロナ体制への転換

ワクチン接種の推進

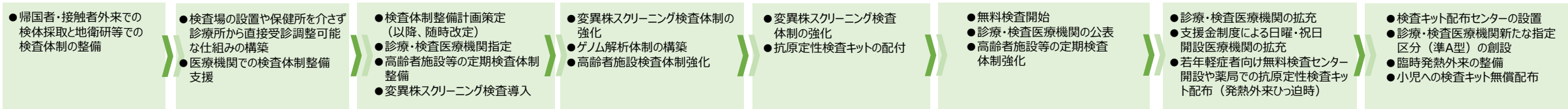
自宅療養者への支援強化

高齢患者への支援強化

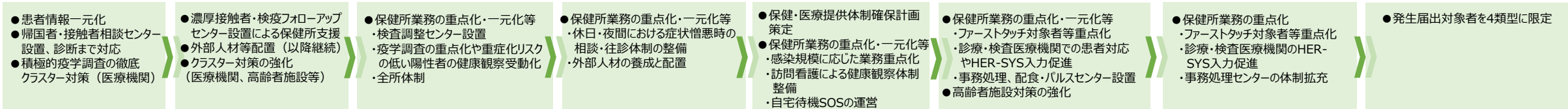
感染対策



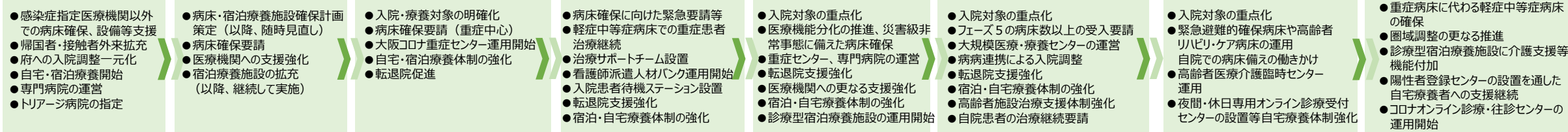
検査体制



保健所業務等



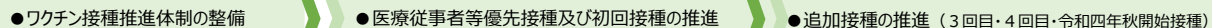
医療療養体制



● 医療機関等へ備蓄物資供給

物資

ワクチン



※第七波は、全数届出がなされていた9月25日までの、第八波は、感染症法上の位置づけ変更前の5月7日までの新規陽性者数を公表した日までとする

# 各指標等の状況【第一波～第四波】

	第一波 (R2.1.29～6.13)	第二波 (R2.6.14～10.9)	第三波 (R2.10.10～R3.2.28)	第四波 (R3.3.1～6.20)
(波の期間内) 新規陽性者数累計	1,786人	9,271人	36,064人	55,318人
新規陽性者数 (最大)	92名	255名	654名	1,260名
発症から公表日までの平均日数	7.8日	6.1日	4.9日	4.4日
最大療養者数	1,071人	1,751人	6,521人	21,900人
新型コロナウイルス感染症患者等 受入医療機関数	42機関 (4/1) ⇒ 68機関 (6/8～)	76機関 (9/18～)	140機関 (2/26～)	175機関 (6/18～)
確保病床数 (重症)	32床 (4/1) ⇒ 188床 (5/1～)	188床 (5/1～)	236床 (12/15)	365床 (5/7～9)
重症患者数 (最大)	65人	72人	187人	449人 (※3)
重症病床利用率 (最大)	112.5% (※4)	38.3%	79.2%	103.0% (※4)
確保病床数 (軽症中等症)	323床 (4/1) ⇒ 1,037床 (6/8～)	1,094床 (8/31～)	1,757床 (2/26～)	2,350床 (6/19～)
軽症中等症入院患者数 (最大)	539人 (※1)	512人	1,091人	1,743人 (※3)
軽症中等症病床利用率 (最大)	82.2% (※1)	47.9%	75.3%	87.1%
宿泊療養施設数 / 居室数	1 施設400室⇒ 3 施設1,504室	5 施設1,517室	9 施設2,416室	15施設 3,986室
宿泊療養者数 (最大)	208人	362人	1,225人	1,829人
宿泊療養施設居室数利用率 (最大)	18.8%	24.1%	60.7%	55.1%
自宅療養者数 (最大)	348人	617人	2,820人	15,031人
自宅待機者数 (最大 ※2) 自宅療養者数含む	353人	1,014人	4,325人	18,265人

※1 第一波の軽症中等症入院患者数は、統計がある令和2年4月23日以降で整理

※2 第一波の自宅待機者数は、統計がある令和2年4月23日以降で整理

※3 重症患者数には、軽症中等症病床等で治療継続している数を含む。軽症中等症入院患者数には、左記数を含まない。  
軽症中等症入院患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を含む。重症患者数には、左記を含まない。

※4 重症確保病床以外の病床で患者を受入れ

# 各指標等の状況【第五波～第八波】

	第五波 (R3.6.21～R3.12.16)	第六波(※2) (R3.12.17～R4.6.24)	第七波 (R4.6.25～R4.9.26)	第八波 (R4.9.27～R5.5.8)
(波の期間内) 新規陽性者数累計	100,891人	800,932人	1,079,161人	767,750人
新規陽性者数(最大)	3,004名	15,291名	25,741名	16,686名
発症から公表日までの平均日数	3.6日	3.6日	2.9日	－(※4)
最大療養者数	27,587人	144,639人	247,068人	98,033人
新型コロナウイルス感染症患者等 受入医療機関数	195機関(11/26～)	215機関(6/13～)	222機関(9/9～)	233機関(1/12～3/13)
確保病床数(重症)	610床(12/6～)	622床(5/10～6/12)	615床(6/25～6/29)	593床(9/27～12/7)
重症患者数(最大)	286人	285人(※1)	93人(※1)	91人(※1)
重症病床使用率(最大)	47.4%	43.6%	15.6%	15.3%
確保病床数(軽症中等症)	3,057床(12/8～)	3,509床(6/20～)	4,149床(8/25～8/31)	4,458床(2/17～3/13)
軽症中等症入院患者数(最大)	2,368人	3,785人(※1)	3,292人(※1)	2,933人(※1)
軽症中等症病床使用率(最大)	90.0%	117.9%(※3)	77.7%	65.6%
宿泊療養施設数 / 居室数	32施設 8,514室	41施設 11,477室	40施設 11,216室	38施設 9,505室
宿泊療養者数(最大)	3,553人	3,205人	6,414人	2,771人
宿泊療養施設居室数使用率(最大)	61.2%	27.9%	67.7%	32.9%
自宅療養者数(最大)	18,384人	75,805人	163,843人	92,540人
自宅待機者数(最大) ※自宅療養者数含む	21,949人	138,269人	239,262人	－(※4)

※1 重症患者数には、軽症中等症病床等で治療継続している数を含む。軽症中等症入院患者数には、左記数を含まない。

軽症中等症入院患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を含む。重症患者数には、左記を含まない。

※2 第六波においては、令和4年1月31日～5月31日まで大阪コロナ大規模医療・療養センター（軽症・無症状病床800床、中等症病床200床（令和4年2月15日～））を運営

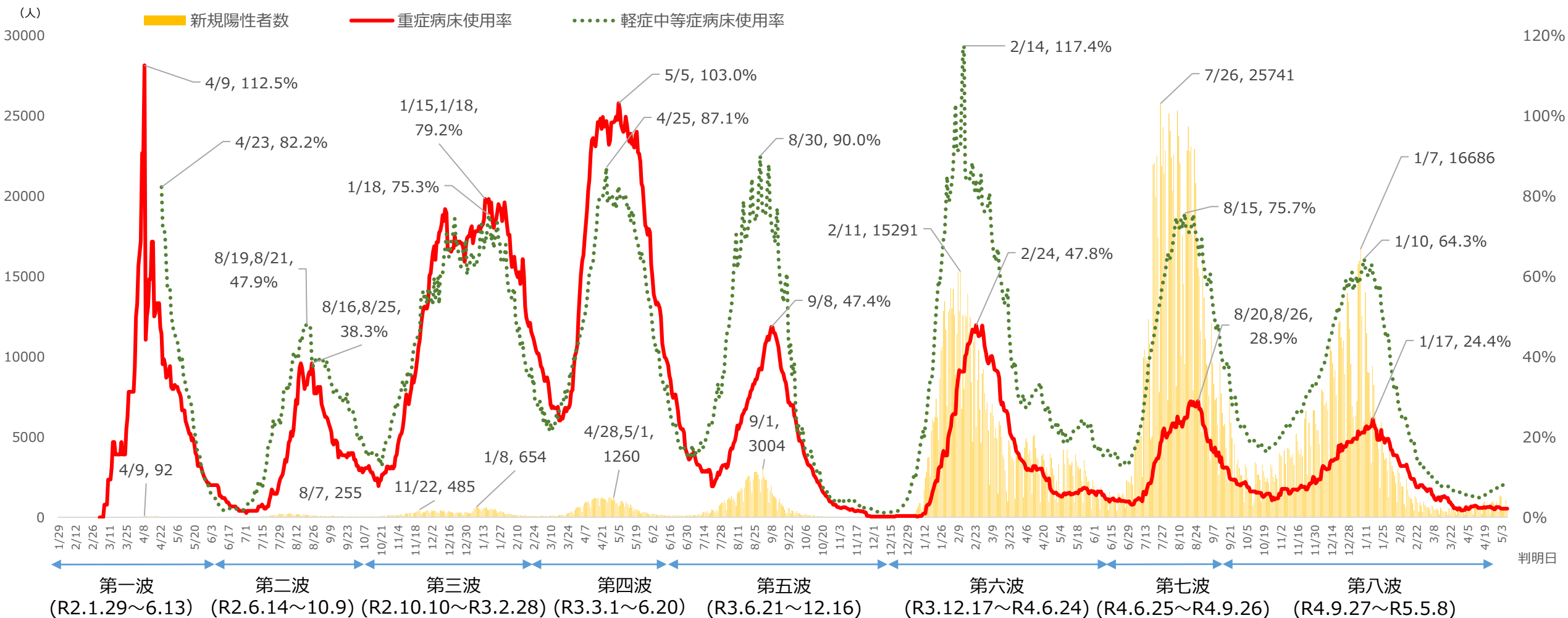
※3 病床使用率は、令和4年2月16日より、病床確保計画に基づく確保病床・運用病床以外に受け入れていただいている病床数を含める。

医療機関休診により、退院状況の確認が困難な場合、退院者が入院患者に含まれることから、翌日公表する軽症中等症入院患者数が、実入院患者数を上回ることがある。

※4 全数届出見直しにより、全患者の個別情報は把握していないため、第八波は記載していない。

# 新規陽性者数と病床使用率の推移

- ◆ 感染規模は波を経るごとに拡大していたが、第八波は第七波と比べ、感染規模が縮小した。
- ◆ 第三波以降、医療提供体制がひっ迫し、第四波は特に重症病床が極めてひっ迫。第六波は特に軽症中等症病床がひっ迫。

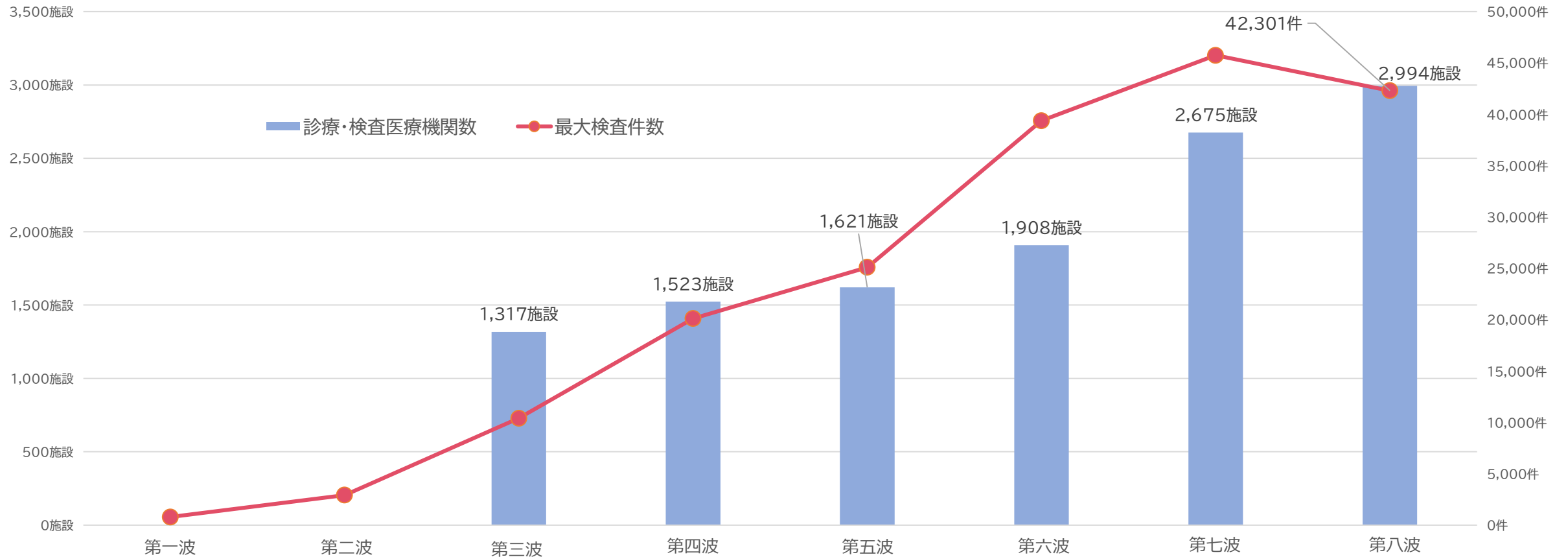


軽症中等症病床使用率は、軽症中等症病床入院患者数の統計を開始したR2.4.23から計上。病床使用率は、R4.2.16より病床確保計画に基づく確保病床・運用病床以外に受け入れていただいている病床数を含める。重症病床使用率は、R3.4.6~7.12、R4.2.16~4.12、R4.8.1~R5.4.13に、軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症患者数を除き、軽症中等症病床使用率は当該患者数を含んで算出。重症病床使用率は、R4.1.14より、コロナは軽症中等症だが、その他疾病等で重症病床における入院加療が必要な患者数を含む。医療機関休診により、退院状況の確認が困難な場合、退院者が入院患者に含まれることから、翌日公表する軽症中等症入院患者数が、実入院患者数を上回ることがある。

# 検査体制

◆ 診療・検査医療機関の指定開始（第三波）以降、指定数及び検査件数は増加。

## 診療・検査医療機関数と検査件数の推移

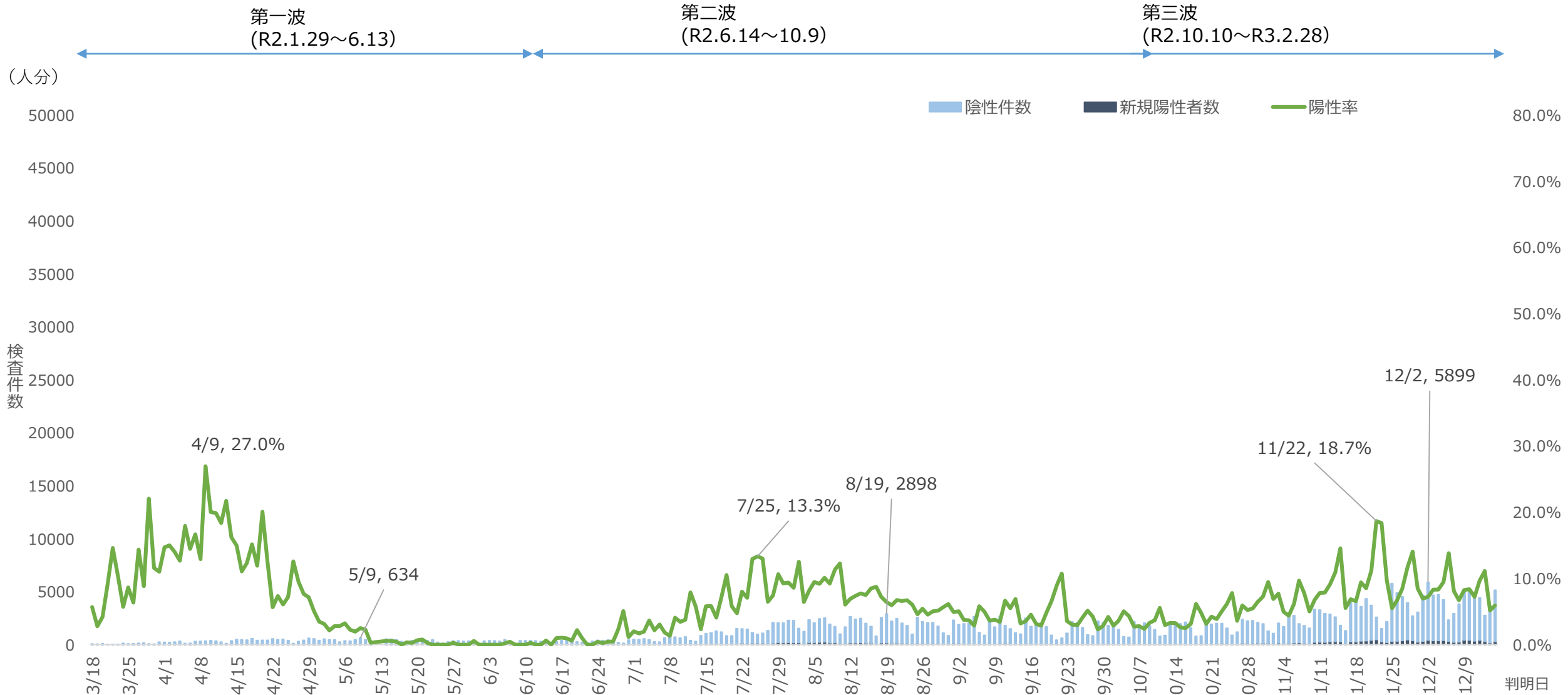


※診療・検査医療機関数は最大件数の検査を実施した日時点

※診療・検査医療機関は、第三波から指定開始

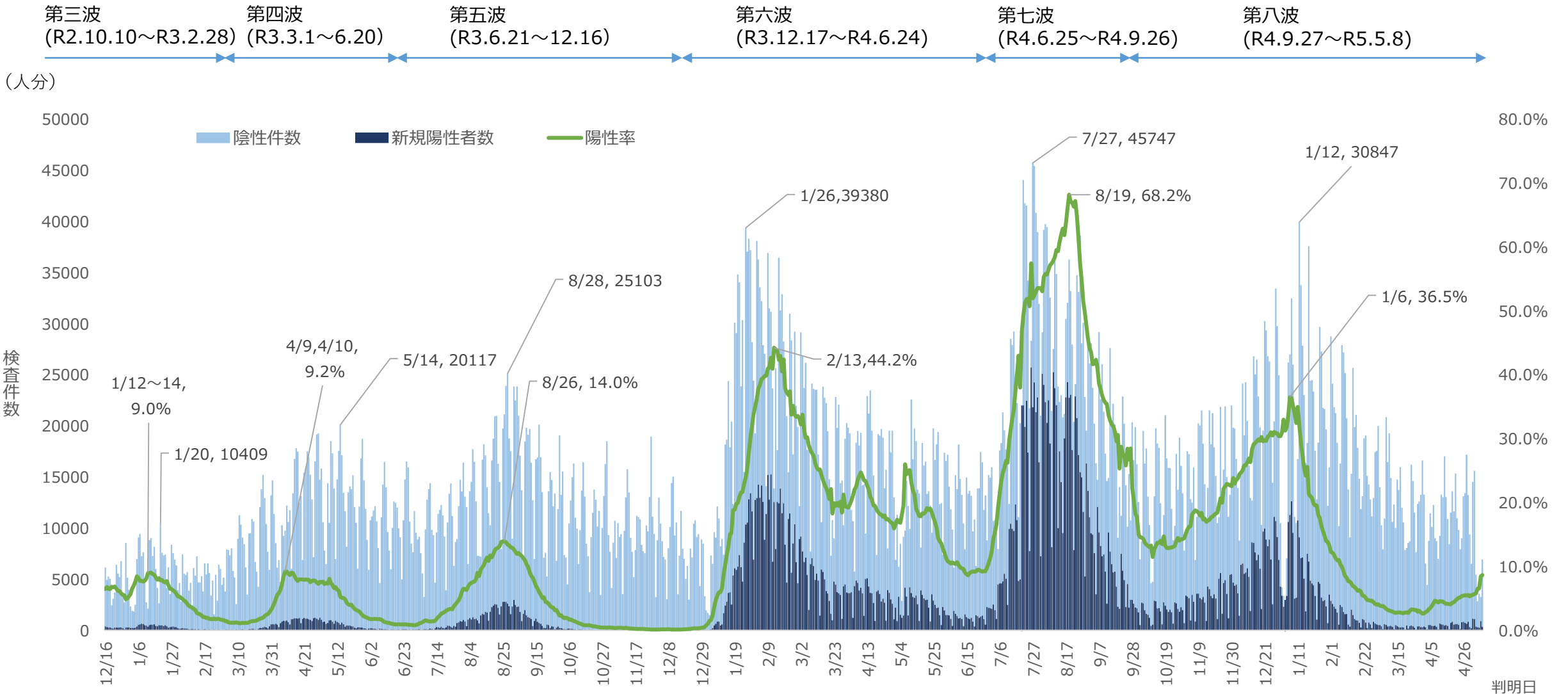
# 検査件数と陽性率（令和2年12月15日まで）

## ◆ 検査体制は波ごとに拡充。



# 検査件数と陽性率（令和2年12月16日以降）

◆ 第六波以降、陽性率は急増し、第七波では最高68.2%となった。



※算出方法：「1週間の陽性者数 / 1週間の検体採取をした人数」  
 ※令和4年9月27日以降の新規陽性者数は医療機関より報告された患者数  
 ただし、令和4年9月27日以降の陽性率の算出方法は以下のとおり  
 分子：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった患者数の合計  
 分母：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった検査件数の合計

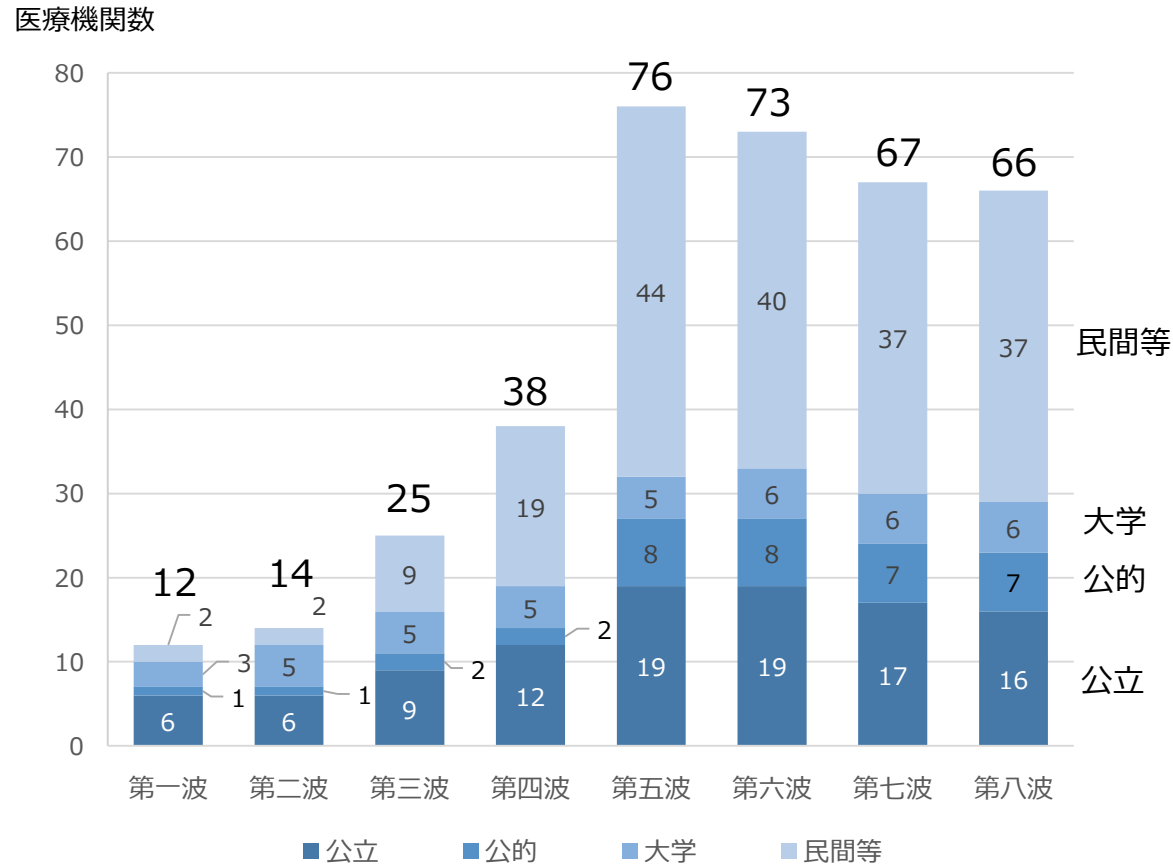


# 新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関の状況

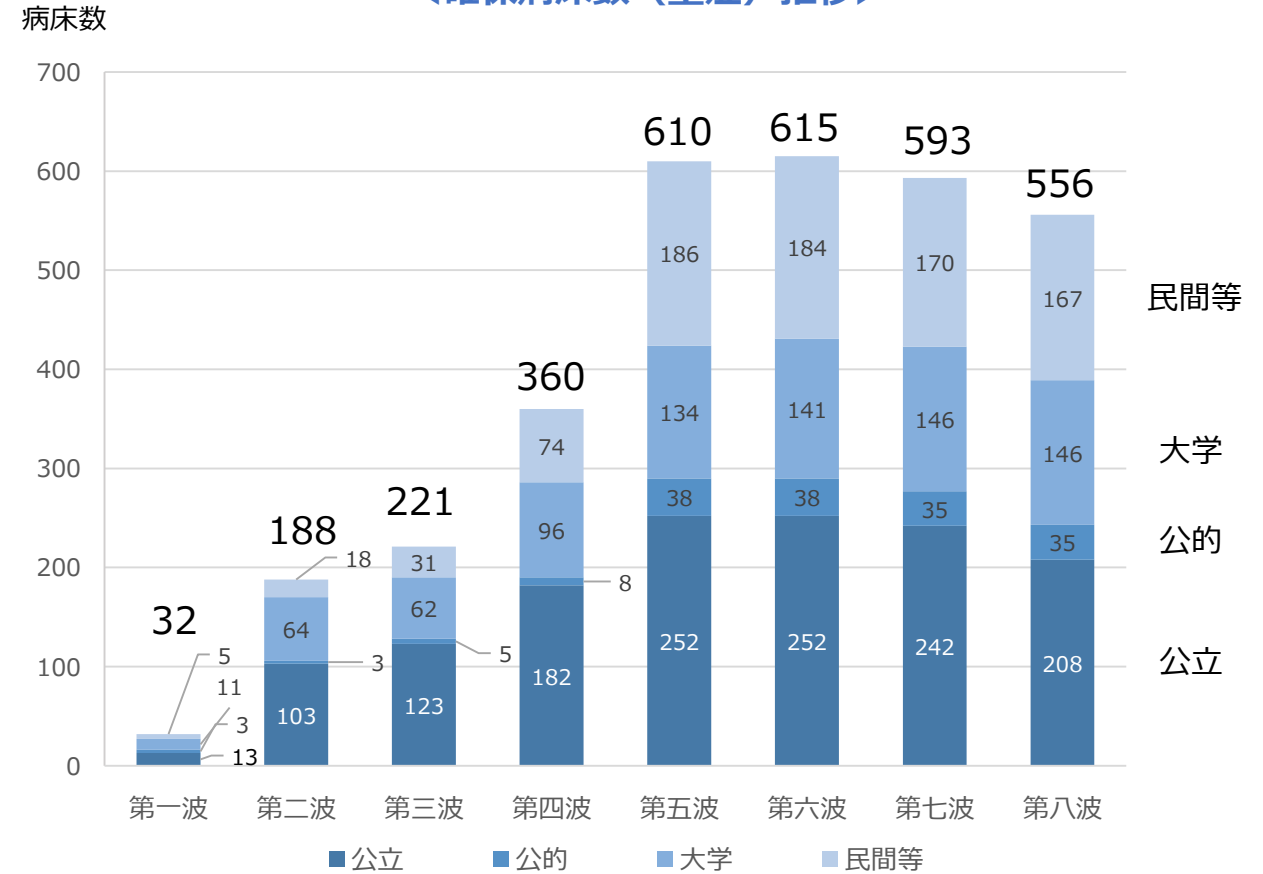
◆ 当初は公立・公的医療機関・大学病院が中心であったが、その後、民間病院にも幅広く受け入れを行っていただいている。

## ● 設置主体別の受入医療機関・確保病床数の推移【重症】 ※1, ※2

＜受入医療機関数（重症）推移＞



＜確保病床数（重症）推移＞



※1 各波の時点

第一波：令和2年4月1日  
 第二波：令和2年8月1日  
 第三波：令和3年2月28日  
 第四波：令和3年6月20日  
 第五波：令和3年12月16日  
 第六波：令和4年6月24日  
 第七波：令和4年9月26日  
 第八波：令和5年4月30日

※2 設置主体

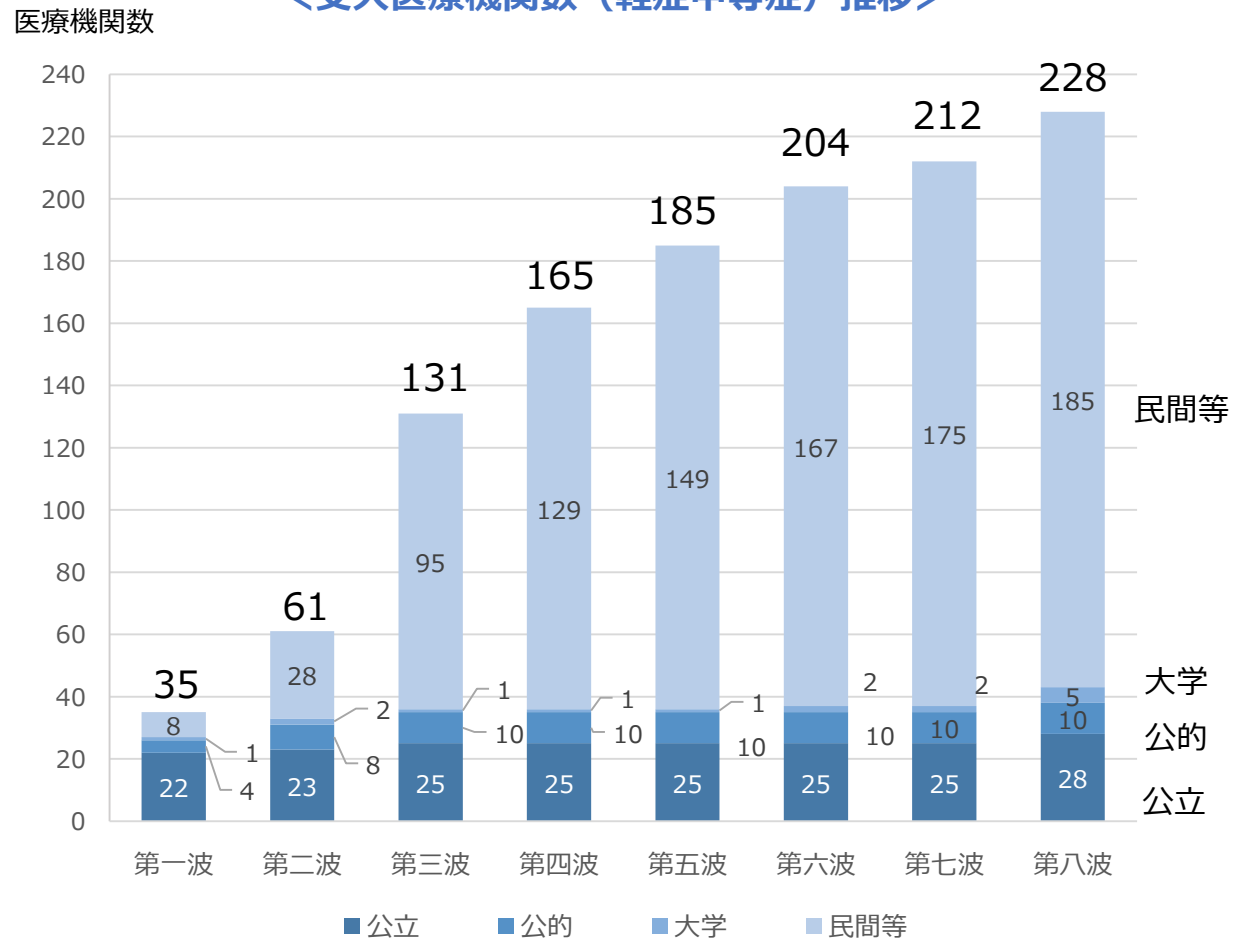
公立：設置主体…市町村、市立病院機構、大阪府、府立病院機構、国立研究センター、国立病院機構  
 公的：設置主体…日赤・済生会  
 大学：5大学  
 民間等：公立・公的・大学以外の医療機関

# 新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関の状況

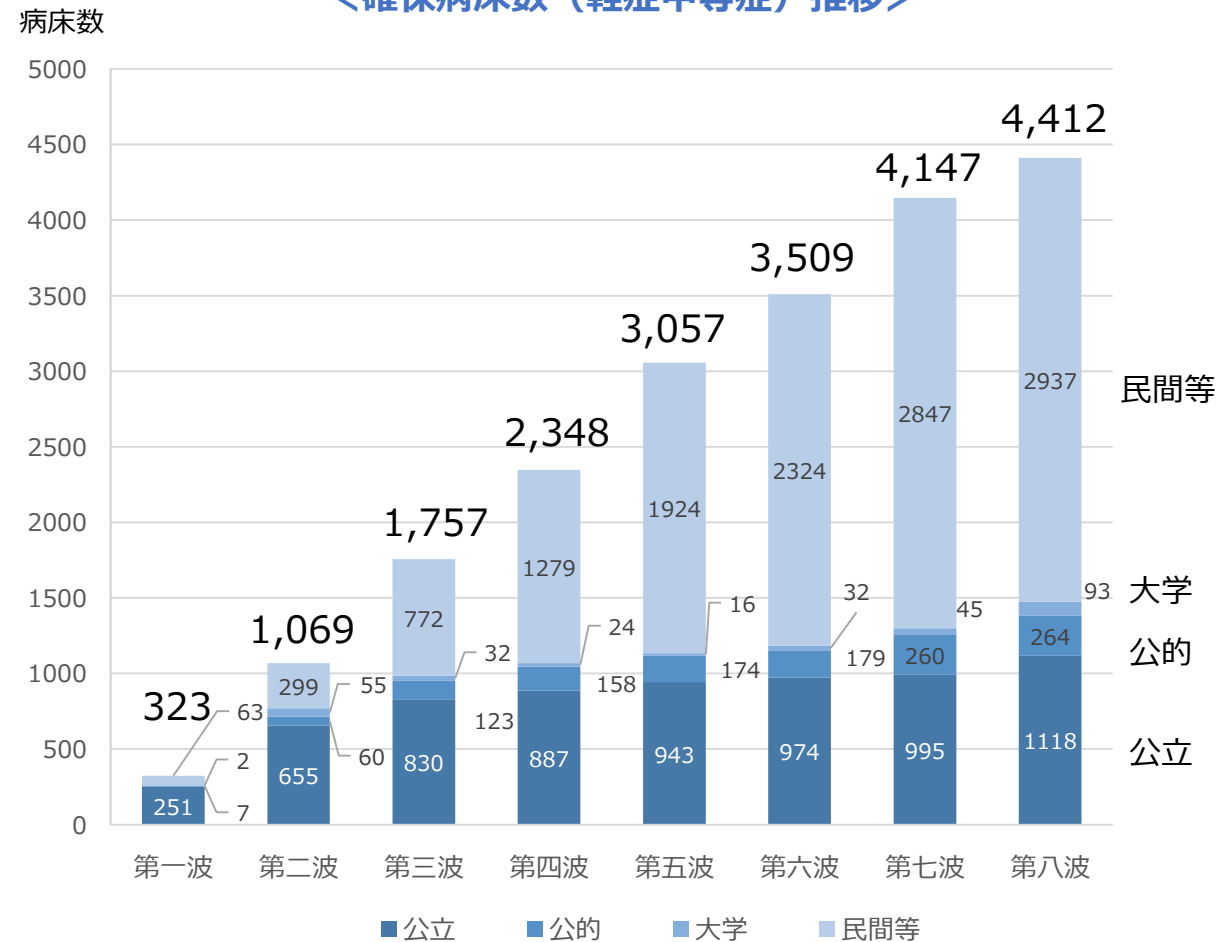
◆ 軽症中等症病床においては、民間医療機関の受入が第三波以降、大幅に増加。

## ● 設置主体別の受入医療機関・確保病床数の推移【軽症中等症】 ※1,※2

＜受入医療機関数（軽症中等症）推移＞



＜確保病床数（軽症中等症）推移＞



※1 各波の時点

第一波：令和2年4月1日  
 第二波：令和2年8月1日  
 第三波：令和3年2月28日  
 第四波：令和3年6月20日  
 第五波：令和3年12月16日  
 第六波：令和4年6月24日  
 第七波：令和4年9月26日  
 第八波：令和5年4月30日

※2 設置主体

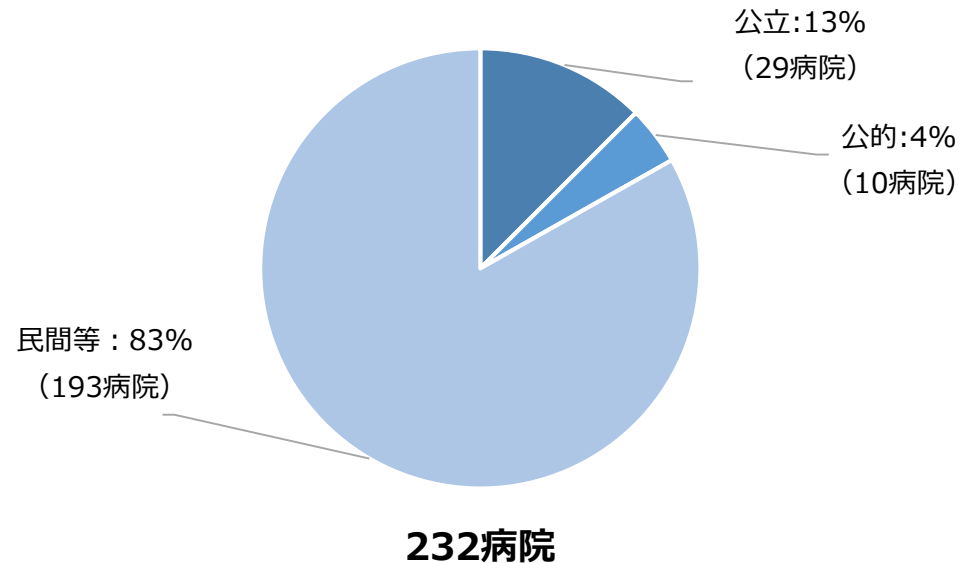
公立：設置主体…市町村、市立病院機構、大阪府、府立病院機構、国立研究センター、国立病院機構  
 公的：設置主体…日赤・済生会  
 大学：5大学  
 民間等：公立・公的・大学以外の医療機関

# 新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関の状況(4月30日時点)

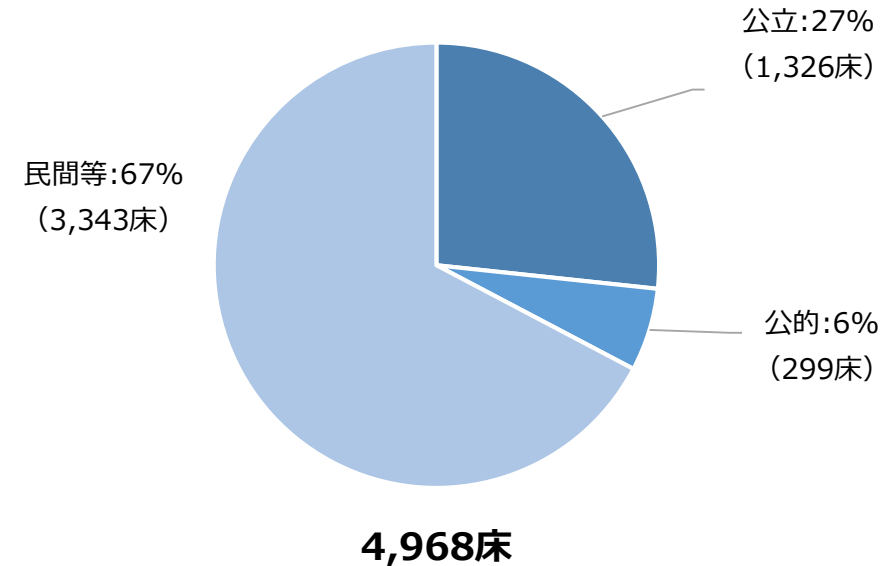
◆ 重症病床、軽症中等症病床の合計では、医療機関数の8割以上、受入病床数の7割近くを民間等の医療機関が占める。  
(公立・公的病院においては、総病院数に占める受入機関数が9割を超過)

## ● 設置主体別の受入医療機関・確保病床数の割合 ※ (令和5年4月30日時点)

【受入医療機関：設置主体別機関数割合】



【確保病床数：設置主体別病床数割合】



	受入率 (受入機関数/総病院数)
公立病院	93.5% (29/31)
公的病院	83.3%(10/12)
民間等病院	42.2%(193/464)

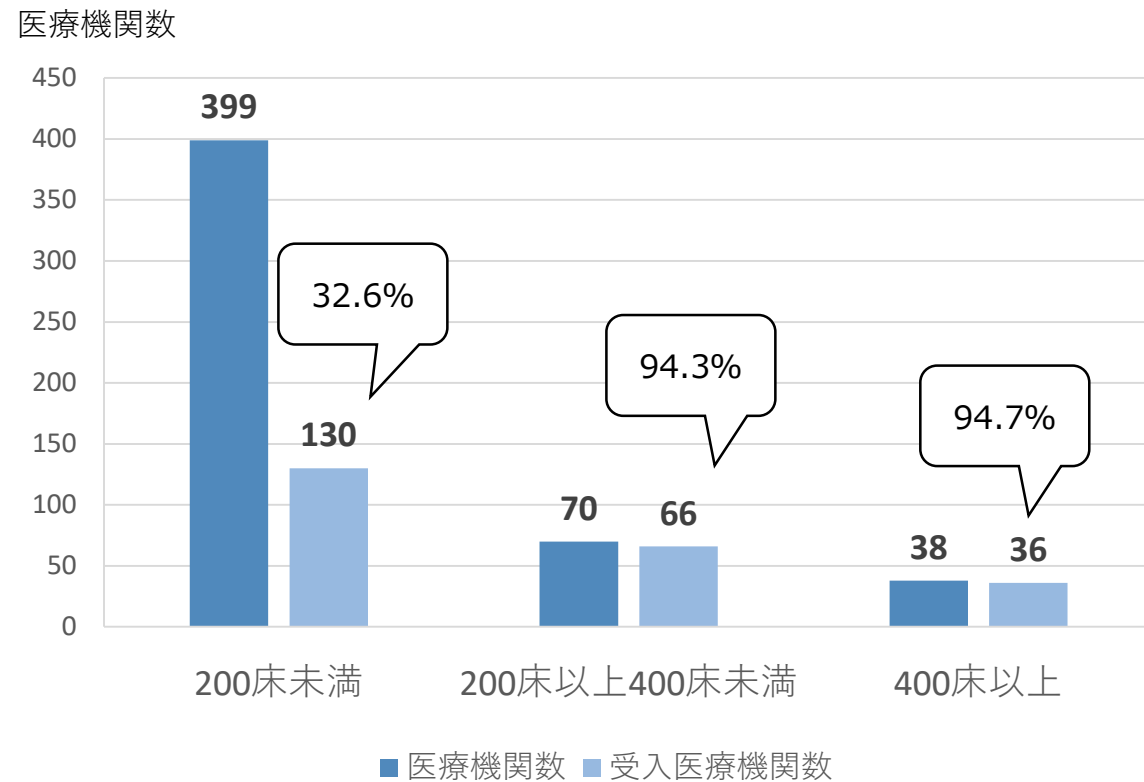
※ 公立：設置主体…市町村、市立病院機構、大阪府、府立病院機構、国立研究センター、国立病院機構  
公的：設置主体…日赤、済生会  
民間等：上記以外。5大学を含む。

# 新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関の状況（4月30日時点）

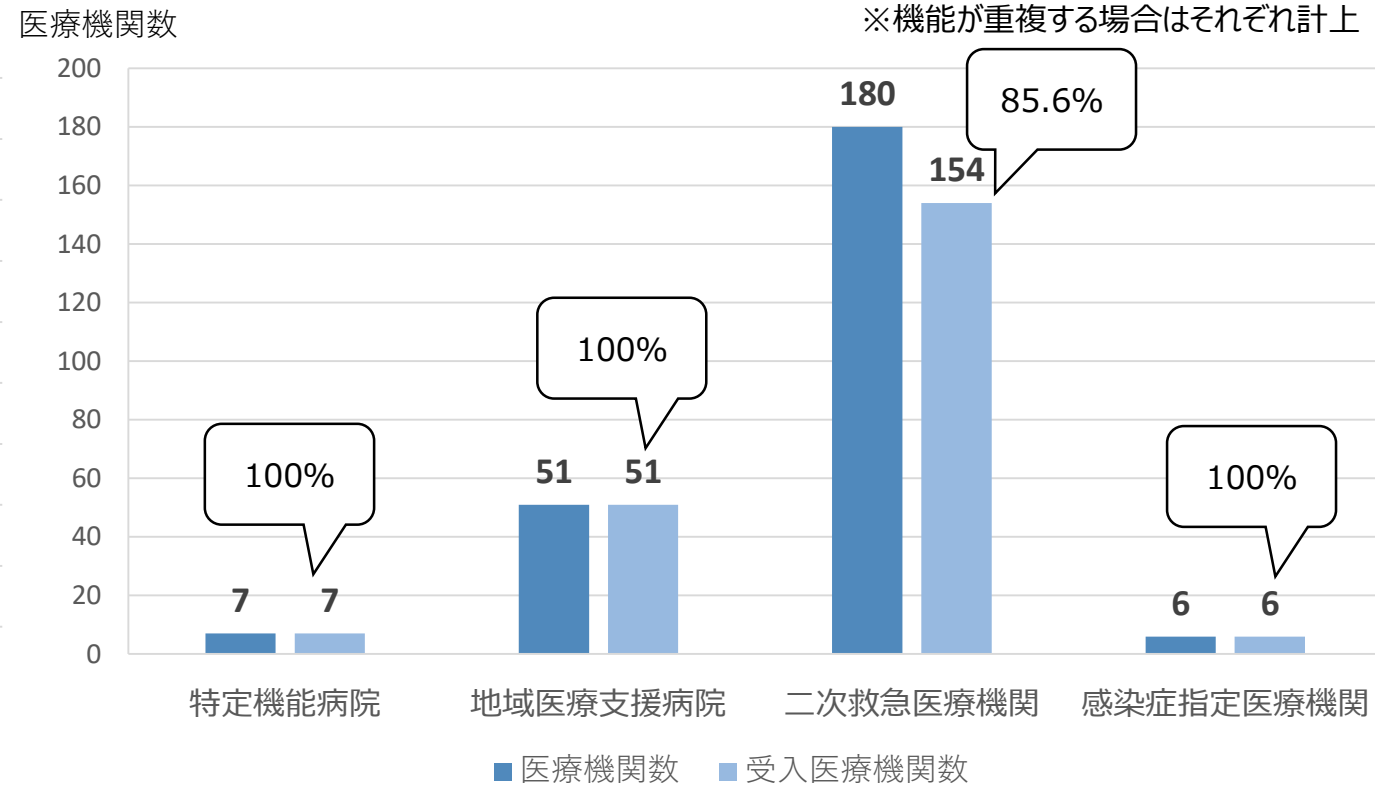
- ◆ 医療機関の規模別に見たところ、一般病床200床以上の医療機関の9割以上が、受入医療機関となっている。
- ◆ 病院機能別では、二次救急医療機関（内科・呼吸器内科標榜）の8割以上が受入医療機関となっている。
- ◆ 府内507病院のうち、受入医療機関は232病院（46%）。

## ●医療機関区分における受入医療機関数の状況 ※1,※2（令和5年4月30日時点）

### <許可病床数（一般病床）別受入医療機関数>



### <病院機能別受入医療機関数>

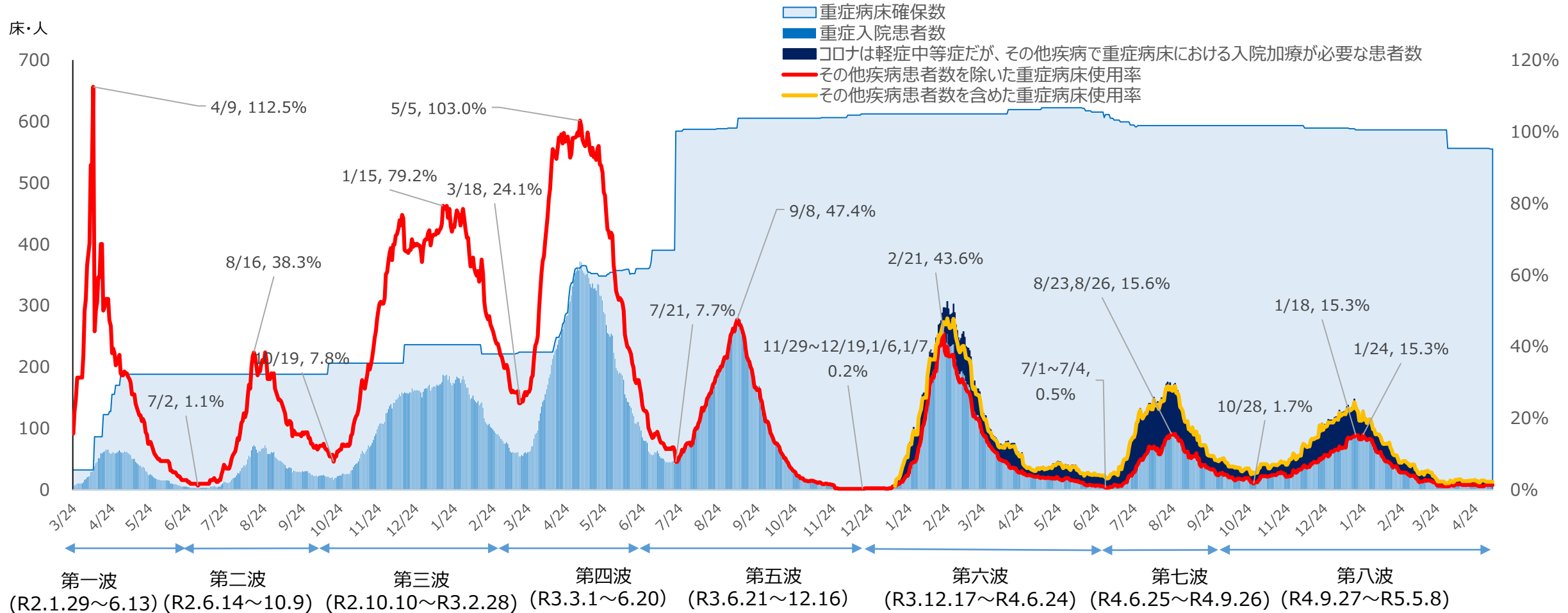


府内507病院のうち、受入医療機関は232病院（46%）

- ※1 二次救急医療機関は、内科・呼吸器内科を協力診療科目としている医療機関に限る。
- ※2 特定機能病院 令和4年4月1日時点  
 地域医療支援病院 令和5年3月20日時点  
 二次救急医療機関 令和5年3月31日時点  
 感染症指定医療機関 平成29年4月1日時点

# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・使用状況【重症病床】

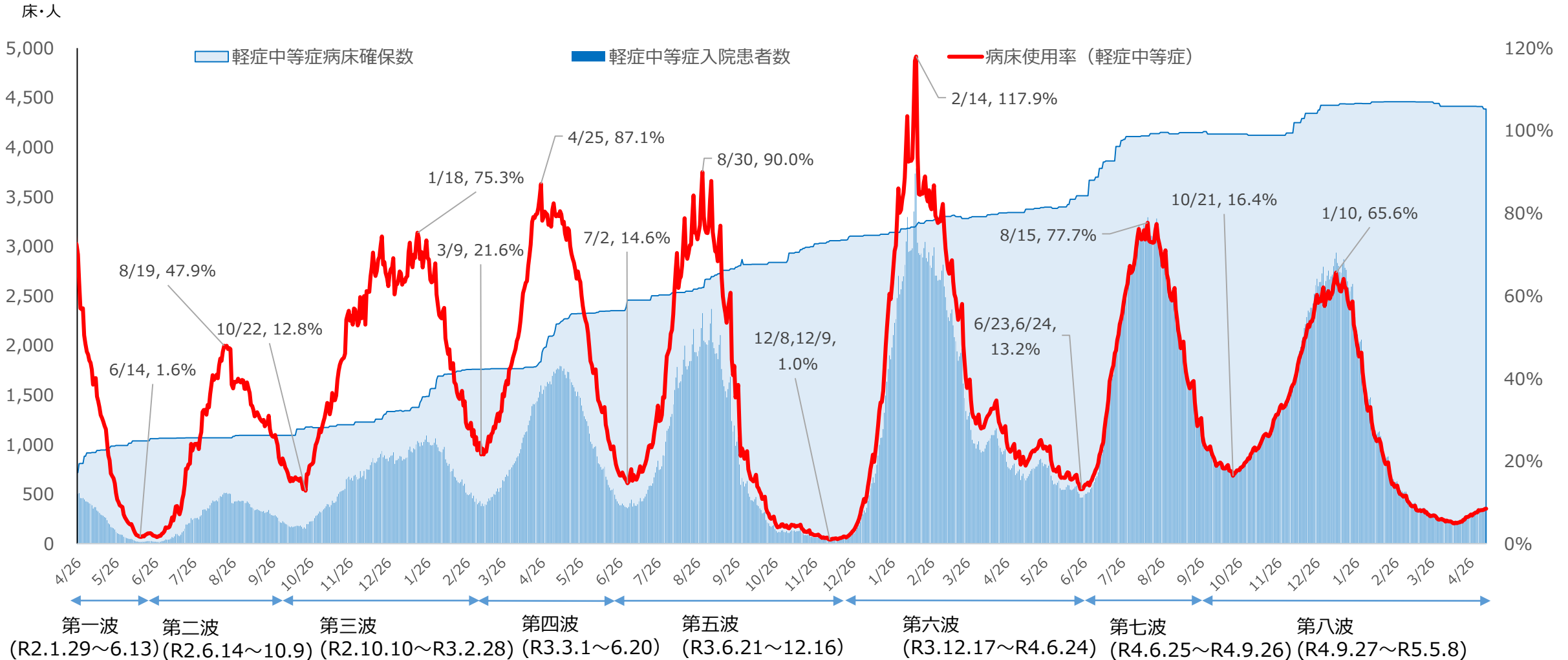
◆ 第三波以降、重症病床がひっ迫。特に第四波は極めてひっ迫し、重症病床の増床とともに、軽症中等症病床にて重症患者の入院加療を継続。  
 第六波以降は、オミクロン株の特性等により感染規模に比して重症患者数が抑制されたが、その他疾病により、重症病床で入院加療を要する患者が増加。



※R4.2.16より病床確保計画に基づく確保病床・運用病床以外に受け入れていただいている病床数を含める。  
 ※重症病床使用率は、R3.4.6~7.12、R4.2.16~4.12、R4.8.1~R5.4.13に、軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症患者数を除く。  
 ※第一波、第四波では、重症確保病床以外の病床で重症患者を受入れ。

# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・使用状況【軽症中等症病床】

◆ 第四波では、軽症中等症病床において重症患者の治療を継続したことも影響し、軽症中等症病床が約9割とひっ迫。第五波・第六波も軽症中等症病床使用率が8割以上となり、特に第六波は極めてひっ迫した。



※R4.2.16より病床確保計画に基づく確保病床・運用病床以外に受け入れていただいている病床数を含める。

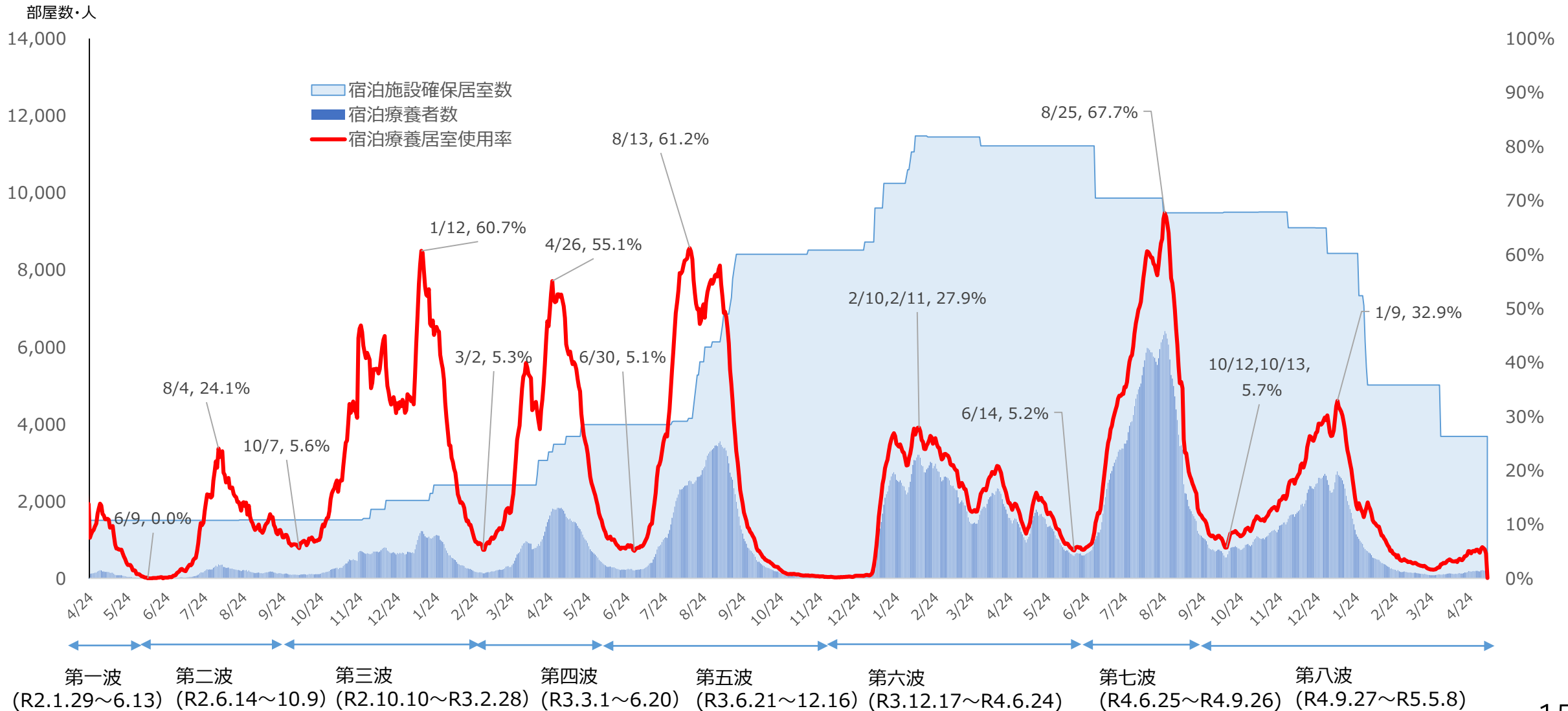
※第一波は、統計上がある令和2年4月23日以降で整理

※患者数には、対応できる人材や設備が整っている軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症患者数を含む。

※医療機関休診により、退院状況の確認が困難な場合、退院者が入院患者に含まれることから、翌日公表する入院患者数が、実入院患者数を上回ることがある。

# 新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設居室数の確保・使用状況

◆ 第三波から第五波までは、宿泊療養施設居室使用率は6割前後となった。  
 第五波以降、宿泊療養施設の更なる確保を図り、第六波で1万室を超過する居室数を確保。  
 第六波では、居室使用率は低い水準で推移したが、第七波のピーク時は、7割弱となった。



# 新型コロナウイルス感染症自宅療養者数

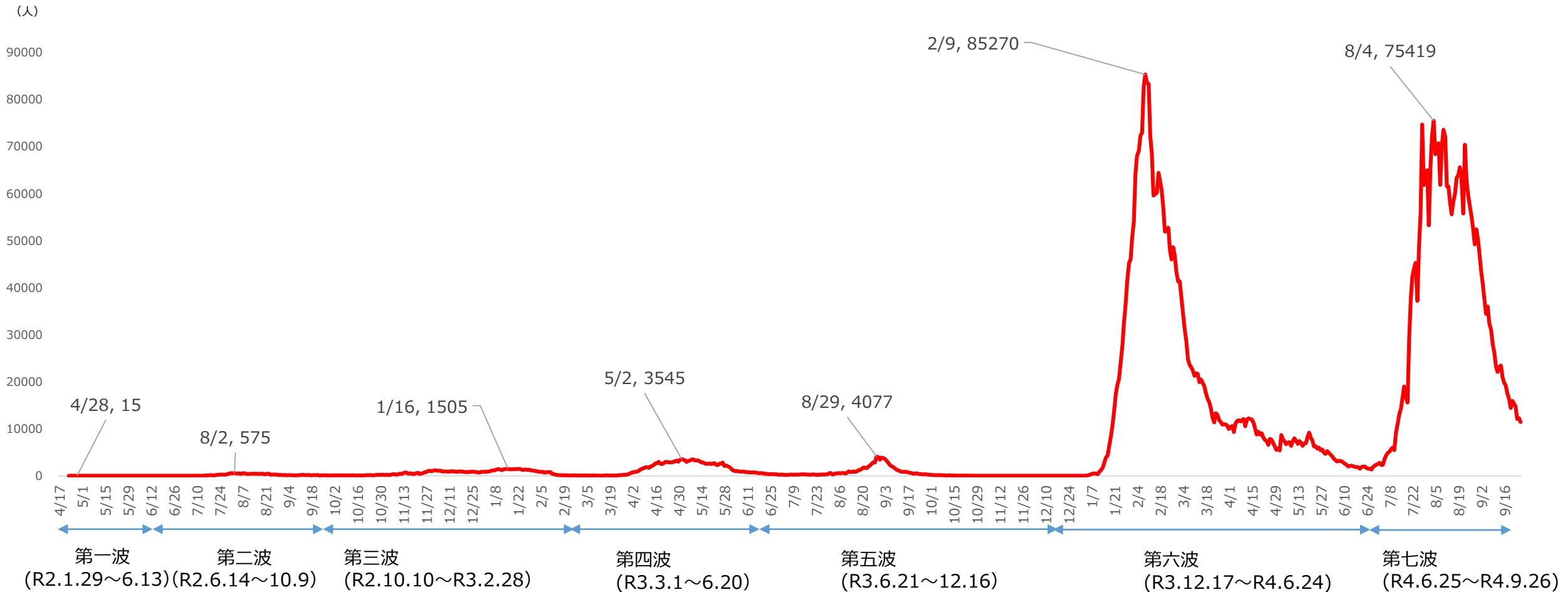
- ◆ 自宅療養者数は波を経るごとに増加し、第七波では1日あたり最大163,843人と大幅に増加。  
 (第八波は全数届出見直しに伴い、自宅療養者数を把握していないため参考値。  
 「公表日から7日前までの陽性者数 - (公表日時点の入院者数 + 公表日時点の宿泊療養者数)」で算出。)





# 新型コロナウイルス感染症入院・療養等調整中患者数（第七波まで）

◆ 第四波以降、入院・療養等調整中の患者数も含めて自宅待機者が増加。  
第六波・第七波は、大規模な感染継続により、自宅待機者数（自宅療養者数及び入院療養等調整中の患者数）が、最大で、第六波で13万8千人強、第七波で約24万人となった。（第八波は、全数届出見直しにより把握していない。）



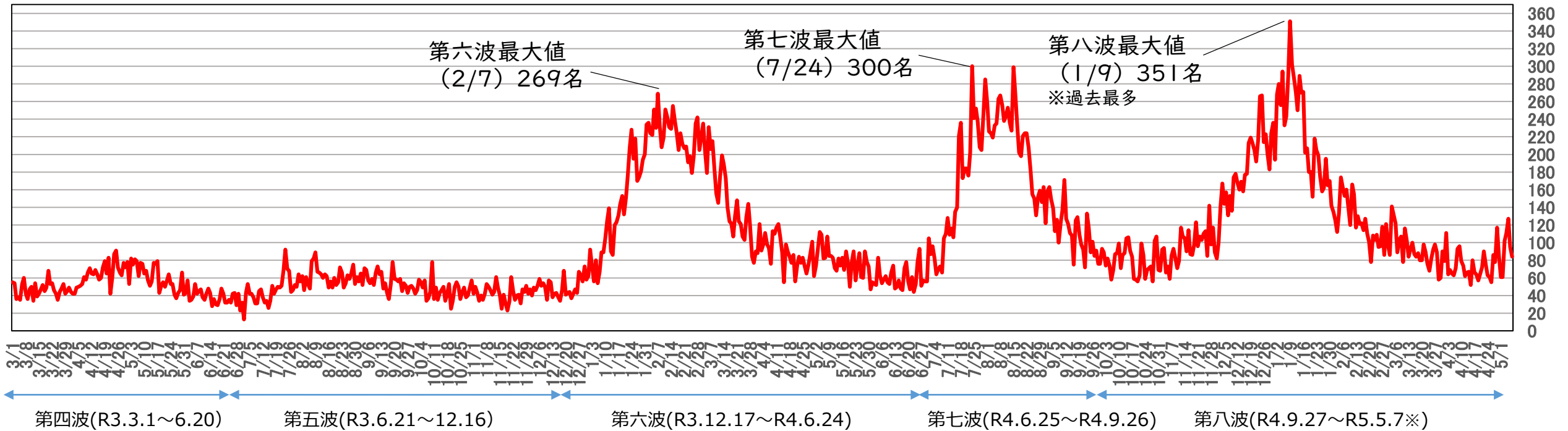
※入院・療養調整中の人数は、統計がある令和2年4月23日以降で整理

# 一般救急患者の搬送困難事案件数（第四波～第八波）

◆ 感染拡大時には救急搬送困難事案(※1)が増加。(コロナ禍前2019年の救急搬送困難事案の最多は115件)  
 (第八波の新型コロナの入院患者待機ステーションにおける平均滞在時間は、第六波、第七波と比べてかなり短い。)

(※1)「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（第四波以降）



(参考)新型コロナの入院患者待機ステーションにおける運営状況

時期 (運営期間)	平均滞在時間
第六波 (R3.12.17～R4.6.24)	10時間28分
第七波 (R4.6.25～R4.9.26)	6時間47分
第八波 (R4.9.27～R5.5.8)	2時間38分

(※) 令和5年5月7日までで作成

# 年代別重症化率の推移（陽性判明日別）（令和5年5月8日判明時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（R3/4/6～7/12、R4/2/16～4/12、R4/8/1～R5/4/13）や他府県で受け入れている重症者（R3/4/22～5/10）を含む。

◆ 重症化率は、第五波以降、低下。特に第六波以降、オミクロン株への置き換わりに伴い、大きく低下。

重症化率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波 (R4/6/25- 9/26)			第八波 (R4/9/27-R5/5/8)			
	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	
未就学児	19	0	0.0%	157	0	0.0%	689	1	0.1%	1255	1	0.1%	4859	0	0.0%	67580	10	0.01%	71691	12	0.02%	0-4歳	34533	6	0.02%
就学児 (10代除く)	13	0	0.0%	61	0	0.0%	336	0	0.0%	742	0	0.0%	3120	0	0.0%	52642	3	0.01%	52033	6	0.01%	5-9歳	42820	2	0.00%
10代	47	1	2.1%	621	0	0.0%	2679	0	0.0%	4632	1	0.0%	14445	3	0.0%	129471	7	0.01%	145375	5	0.00%	10代	92362	9	0.01%
20代	364	2	0.5%	2996	1	0.0%	7079	2	0.0%	12137	21	0.2%	27012	25	0.1%	133701	12	0.01%	174384	12	0.01%	20代	120258	7	0.01%
30代	290	5	1.7%	1424	2	0.1%	4654	14	0.3%	7641	40	0.5%	17066	74	0.4%	122358	10	0.01%	165354	5	0.00%	30代	114222	13	0.01%
40代	306	13	4.2%	1160	14	1.2%	4851	42	0.9%	8223	146	1.8%	15521	229	1.5%	118783	47	0.04%	169936	15	0.01%	40代	118474	18	0.02%
50代	258	23	8.9%	1047	38	3.6%	4994	142	2.8%	7622	348	4.6%	10942	324	3.0%	75101	79	0.11%	134756	43	0.03%	50代	106686	54	0.05%
60代	161	35	21.7%	628	49	7.8%	3393	246	7.3%	4582	420	9.2%	3690	181	4.9%	37402	122	0.33%	68496	46	0.07%	60-64歳	35048	36	0.10%
																						65-69歳	18937	44	0.23%
70代	176	49	27.8%	580	79	13.6%	3657	451	12.3%	4377	564	12.9%	2221	121	5.4%	30452	339	1.11%	52012	104	0.20%	70代	42892	176	0.41%
80代	118	18	15.3%	449	46	10.2%	2797	224	8.0%	3022	200	6.6%	1494	61	4.1%	23229	227	0.98%	33192	114	0.34%	80代	30298	141	0.47%
90代	30	1	3.3%	145	3	2.1%	899	26	2.9%	923	16	1.7%	397	6	1.5%	8596	39	0.45%	10550	15	0.14%	90代 以上	10253	21	0.20%
100代	4	0	0.0%	3	0	0.0%	36	0	0.0%	46	0	0.0%	19	0	0.0%	431	3	0.70%	457	0	0.00%				
【再】 70代以上	328	68	20.7%	1177	128	10.9%	7389	701	9.5%	8368	780	9.3%	4131	188	4.6%	62708	608	0.97%	96211	233	0.24%	【再】 70代以上	83443	338	0.41%
総計	1786	147	8.2%	9271	232	2.5%	36064	1148	3.2%	55318	1757	3.2%	100891	1024	1.0%	800932	898	0.11%	1079161	377	0.03%	総計	767750	527	0.07%

※重症化率：新規陽性者数に占める重症者の割合。令和5年5月8日判明時点までの重症者数に基づく。

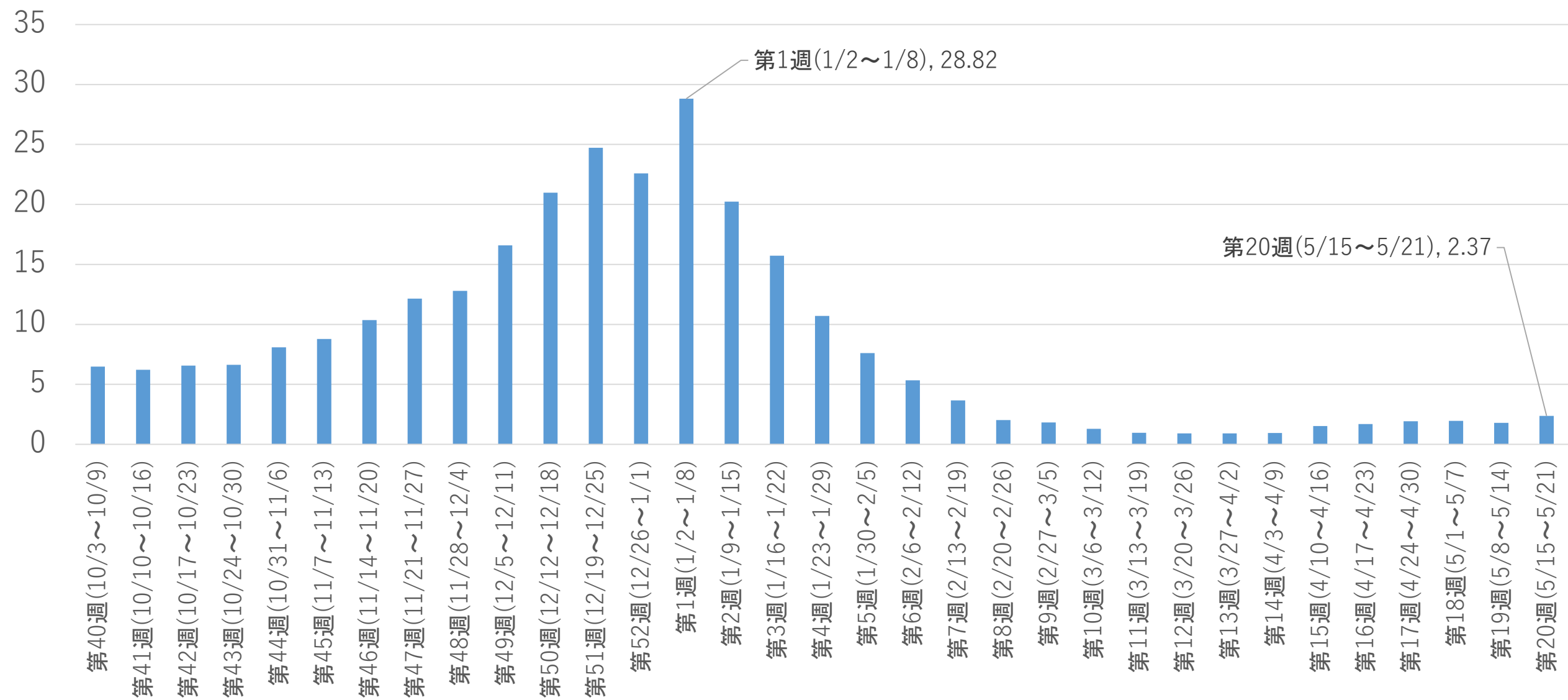
# 年代別死亡率の推移（陽性判明日別）（令和5年5月8日判明時点）

◆ 死亡率は、第五波以降、低下。特に第六波以降、オミクロン株への置き換わりに伴い、大きく低下。

死亡率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波 (R4/6/25- 9/26)			第八波 (R4/9/27-R5/5/8)			
	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	
未就学児	19	0	0.0%	157	0	0.0%	689	0	0.0%	1255	0	0.0%	4859	0	0.0%	67580	0	0.00%	71691	0	0.00%	0-4歳	34533	1	0.00%
就学児 (10代除く)	13	0	0.0%	61	0	0.0%	336	0	0.0%	742	0	0.0%	3120	0	0.0%	52642	0	0.00%	52033	0	0.00%	5-9歳	42820	0	0.00%
10代	47	0	0.0%	621	0	0.0%	2679	0	0.0%	4632	0	0.0%	14445	1	0.0%	129471	1	0.00%	145375	2	0.00%	10代	92362	4	0.00%
20代	364	0	0.0%	2996	0	0.0%	7079	0	0.0%	12137	1	0.0%	27012	0	0.0%	133701	0	0.00%	174384	2	0.00%	20代	120258	4	0.00%
30代	290	0	0.0%	1424	0	0.0%	4654	1	0.0%	7641	6	0.1%	17066	4	0.0%	122358	0	0.00%	165354	4	0.00%	30代	114222	3	0.00%
40代	306	3	1.0%	1160	0	0.0%	4851	3	0.1%	8223	19	0.2%	15521	19	0.1%	118783	16	0.01%	169936	11	0.01%	40代	118474	17	0.01%
50代	258	3	1.2%	1047	4	0.4%	4994	14	0.3%	7622	69	0.9%	10942	44	0.4%	75101	41	0.05%	134756	38	0.03%	50代	106686	51	0.05%
60代	161	9	5.6%	628	13	2.1%	3393	55	1.6%	4582	138	3.0%	3690	48	1.3%	37402	111	0.30%	68496	89	0.13%	60-64歳	35048	35	0.10%
																						65-69歳	18937	68	0.36%
70代	176	29	16.5%	580	31	5.3%	3657	239	6.5%	4377	433	9.9%	2221	80	3.6%	30452	495	1.63%	52012	259	0.50%	70代	42892	406	0.95%
80代	118	31	26.3%	449	70	15.6%	2797	414	14.8%	3022	606	20.1%	1494	120	8.0%	23229	926	3.99%	33192	539	1.62%	80代	30298	832	2.75%
90代	30	10	33.3%	145	24	16.6%	899	202	22.5%	923	258	28.0%	397	38	9.6%	8596	546	6.35%	10550	340	3.22%	90代 以上	10253	598	5.83%
100代	4	2	50.0%	3	0	0.0%	36	10	27.8%	46	11	23.9%	19	4	21.1%	431	35	8.12%	457	19	4.16%				
【再】 70代以上	328	72	22.0%	1177	125	10.6%	7389	865	11.7%	8368	1308	15.6%	4131	242	5.9%	62708	2002	3.19%	96211	1157	1.20%	【再】 70代以上	83443	1836	2.20%
総計	1786	87	4.9%	9271	142	1.5%	36064	938	2.6%	55318	1541	2.8%	100891	358	0.4%	800932	2171	0.27%	1079161	1303	0.12%	総計	767750	2019	0.26%

※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合。死亡率は5月8日判明時点までの死亡者数に基づく。

# (参考) 定点医療機関あたりの患者報告数



※第18週までのデータは厚生労働省の公表値。(HER-SYSを活用してこれまで入力された定点医療機関による報告数を集計(5月17日17時時点)したものであり、各医療機関からの報告がHER-SYS上明らかでない場合は含まれない等、すべての定点医療機関による報告数が網羅されていない。)

※第19週以降は大阪府の公表値。